



# 大銀杏

喜多方市立慶徳小学校 学校だより  
令和2年7月15(水) 第26号  
発行責任者 校長 石田 秀喜

【教育目標】 ■かながえる子 ■おもいやりのある子 ■たくましい子

## ただ「がんばれ！」では がんばれないときも…

私たち大人が、子どもにかけることが多い言葉に「がんばれ」があります。水泳記録会で、足がつきそうになりながらも50mを泳ぎ切ろうとしているこどもや、マラソン記録会で、脇腹を押さえながらも、まだ遠いゴールを目指して懸命に走っている子どもの姿を見ると、思わず「がんばれー」という言葉をかけたくくなります。そして、その言葉を励みに、子どもたちも力を振り絞ってがんばることができます。



一方で、子どもたちには、「がんばれ」の言葉にこたえられないときもあります。「もっとがんばりなさい!」「どうしてがんばれないの?」と何度言われても、どうしようもない時があります。何のためにやるのか、何をどうがんばればいいのか分からないからです。



多くの場合、怠けているのではなく、がんばり方が分からないのです。そんなときは、子どもの様子をよく観察し、悩みや困り感に耳を傾けながら、何につまずいているのかを子どもとともにはっきりとさせ、その解決法やがんばり方を一緒に考えてあげることが必要なのかもしれません。(本校の先生方は、このようなことを踏まえて指導をしています。)

## 伝統野菜「慶徳玉ねぎ」を収穫!!(6年農業科)

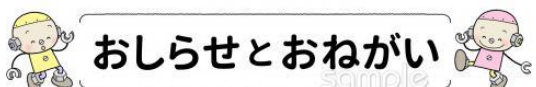
本校の農業科の特色のひとつに「慶徳玉ねぎ」の栽培があります。前年度の6年生が、秋に種をまき、育った玉ねぎを翌年度の6年生が収穫をするというもので、本校の伝統になっています。収穫当日、農業科支援員の山内健一さんにおいでいただき、慶徳玉ねぎの歴史や育て方などについて教えていただきました。最大糖度14度(普通は7~8度)でとても甘く、ジュシーでフルーツのような慶徳玉ねぎは、昭和39年に農林水産大臣賞を受賞したこともあるそうです。そんな慶徳玉ねぎを子どもたちは大切に掘り起こしていました。



## 毎週火曜日は「しおりデー」～慶徳小ライブラリー～



慶徳小の図書館にも、たくさんの本があります。子どもたちは、とても本が好きで、特に新しい本が来ると、みんな興味津々で図書館にやってきます。昨日の火曜日は、「しおりデー」ということで、本を借りた人には、素敵なしおりのプレゼントがありました。



■ 「ほけんだより」7月号でもお願いしましたように、毎日清潔なハンカチを持たせてください。(予備に1枚持って来ておいてもいいですね。)

■ 「喜多方市立学校新型コロナウイルス対策 対応・休業マニュアル」が7/14付けで改訂されました。その概要を、別紙「通知18」でお知らせしますので、お読みください。特に、学校の休業や出席停止の基準等についてご確認ください。